

富山市牛岳温泉スキー場及び周辺施設管理運営事業
募集要項等に関する質問への回答

令和8年4月

富山市 商工労働部 観光政策課

募集要項に関する質問への回答

No	別紙	頁	1	(1)	ア	①	項目等	質問内容	回答
1	別紙						決算額	各施設、決算（収支）の月別が可能であればご教示ください。	月別の数値は取りまとめしておりません。
2	別紙						決算額	各施設、人件費の内訳（正職員、PA等）をご教示ください。	スキー場は、「別添資料1）牛岳温泉スキー場人件費内訳」を参照ください。 なお、健康センターは指定管理者制度により、さらには業務委託により、管理運営しているため、人件費内訳として提供できる数値はございません。
3	別紙						決算額	各施設、電力費の直近12か月の明細をご教示ください。	スキー場は、「別添資料2）牛岳温泉スキー場電気料（高圧・低圧）」をご参照ください。 なお、健康センターは指定管理者制度により、さらには業務委託により、管理運営しているため、電力費の明細として提供できる数値はございません。

要求水準書に関する質問回答

No	頁	第1	第1節	1	①	ア	項目等	質問内容	回答
1	9			4			スキー場入込	入込数の内、一般客、団体、教室、職域関係等内訳があればご教示ください。	「別添資料3) 牛岳温泉スキー場入込客数、オープン日の内訳」をご参照ください。
2	9			4			営業日数	スキー場各年度のオープン日をご開示ください。	「別添資料3) 牛岳温泉スキー場入込客数、オープン日の内訳」をご参照ください。
3	18			5	②		人工造雪機	現状の能力6割程度の性能である要因をご教示ください。	冷凍機5台のうち2台について、圧縮機の故障により稼働不能となっていることから、3/5の製造能力となっています。
4	18			4			人工造雪機	人工造雪機の過去3年の稼働日数と稼働機械、契約電力量をご開示ください。	「別添資料4) 人工造雪機に関する資料」をご参照ください。
5	18			5			施設の修繕	圧雪車の所有履歴と各車のアワーメーターをご開示ください。	以下のとおりです。 大原SRH240Ⅱ：H2.11.28取得、H21.9.10売却 大原SRH370：H3.11.28取得、H20.4売却 大原SRH370：H8.11.1取得、H22.10.22下取 大原DF400：H18.11.1取得、R5.12.22譲渡 ケースボラーPB400：H22.12.15取得、R6.11.12廃棄 大原DF430：R4.12.23取得 →現有（アワーメーター1975.9hr） ケースボラーPB400：R6.11.12取得 →現有（アワーメーター1057.4hr）
6	18			5			施設の修繕	索道の修繕履歴をご開示ください。	「別添資料5) 索道の修繕履歴」をご参照ください。
7	18			5			健康センター	温泉ボイラーの電熱面積、泉温、泉質をご開示ください。	「別添資料6) 健康センター温泉ボイラー伝熱面積」及び「別添資料7) 温泉分析書」をご参照ください。

No	頁	第1	第1節	1	①	ア	項目等	質問内容	回答
8	20	第3	第1節				スキー場グリーンシーズン	夏山にリフト営業する場合、山頂への道路を許可車両、生活車両以外通行止めにする事の可否をご教示ください。	市道の通行制限等については、現在、イベント開催時等で警察署へ道路使用許可を申請し一時的に通行止め等の制限を行っている事例はありますが、ゲレンデ上部のオートキャンプ場や牛岳登山道および砺波市（夢ノ平スキー場）へ通り抜けるためのアクセス道路（林道奥山線）への接続性を確保する必要があることから、事前に関係機関の許可等が必要なことに十分留意のうえ対策する必要があります。 また、「別添資料8）牛岳温泉スキー場周辺図」青線部分に示すスキー場管理道路についても、必要に応じ通行止めにする事は可能であると考えます。
9	20	第3	第1節				スキー場グリーンシーズン	花を植える事の可否（規制範囲等）をご教示ください。	ゲレンデへの花卉の植え付けは、過去にも事例（コスモス等）があることから、地形の変更を伴わず冬期の営業に支障のない花卉の植え付けについては可能と考えますが、実際に植える植物が明らかになった段階で、別途協議が必要です。
10	21	第3	第1節				スキー場グリーンシーズン	アクティビティとしてのダム湖利用の可能性（SUP、カヤック）をご教示ください。	富山土木センター（富山県）が管理するかんがい排水用ダム（農業用ダム）であることから、利用の内容等を明らかにしたうえで富山土木センターへ問い合わせをお願いします。
11	21	第3					スキー場	レンタルスキー強化の場所と可否をご教示ください。	牛岳温泉スキー場内で営業を行っている者（牛岳温泉スキー場営業者協議会員）と協調しながら、有休スペースを活用し事業を行うことについては、問題がないものと考えます。
12	21	第3					スキー場	レストラン（飲食）営業の可否をご教示ください。	牛岳温泉スキー場内で営業を行っている者（牛岳温泉スキー場営業者協議会員）と協調しながら、有休スペースを活用し事業を行うことについては、問題がないものと考えます。

特別会計給与実績（正規職員1名、会計年度任用職員2名、冬期臨時職員各年度80名程度）

単位：千円

	給料	(内訳)		職員手当等	(内訳)		共済費	(内訳)		賃金	(内訳)	
R6	10,640,103	3,797,400	業務長給料	5,619,359	3,754,431	業務長	2,610,175	1,571,264	業務長	14,768,680	14,768,680	冬季臨時職員
		6,842,703	会任2名		1,864,928	会任2名期末手当		1,038,911	会任2名			
R5	9,334,874	3,727,800	業務長給料	4,038,957	3,120,749	業務長	2,239,251	1,302,431	業務長	10,829,595	10,829,595	冬季臨時職員
		5,607,074	会任2名		918,208	会任2名期末手当		936,820	会任2名			
R4	9,348,023	3,687,600	業務長給料	4,069,485	3,254,645	業務長	2,221,668	1,342,338	業務長	15,180,111	15,180,111	冬季臨時職員
		5,660,423	会任2名		814,840	会任2名期末手当		879,330	会任2名			
R3	3,610,281	3,610,281	業務長給料	4,102,329	4,102,329	業務長、会任2名期末手当	2,046,001	2,046,001	業務長、会任2名	20,901,314	20,901,314	冬季臨時職員
												会計年度任用職員
R2	3,601,800	3,601,800	業務長給料	3,430,998	3,430,998	業務長、会任2名期末手当	1,801,000	1,801,000	業務長、会任2名	22,326,213	22,326,213	冬季臨時職員
												会計年度任用職員

会任…1年雇用

R7低圧

施設名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
牛岳温泉スキー場 91001-510427	使用量	4,097	3,661	3,720	3,589	4,141	3,534	3,535	3,537	3,958	5,864	9,004	5,675
	支払金額	171,543	169,092	168,719	163,644	167,289	148,459	147,788	158,237	174,175	234,783	287,720	198,308
牛岳温泉スキー場 (人工造雪施設水源地) 91001-510429	使用量	1,369	1,310	860	0	0	0	0	114	355	1,248	2,407	2,219
	支払金額	34,333	35,305	25,086	3,066	3,066	3,066	3,066	8,518	13,583	32,452	46,063	43,122
牛岳温泉スキー場 (牛岳プラント) 91001-510436	使用量	2	1	0	0	0	0	0	27	4	3	9	8
	支払金額	1,269	1,245	915	915	915	915	915	1,939	1,324	1,903	2,001	1,996
支払金額合計		207,145	205,642	194,720	167,625	171,270	152,440	151,769	168,694	189,082	269,138	335,784	243,426
累 計		207,145	412,787	607,507	775,132	946,402	1,098,842	1,250,611	1,419,305	1,608,387	1,877,525	2,213,309	2,456,735

R7高圧

施設名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
牛岳温泉スキー場	使用量	23,262	0	0	0	0	0	0	125	5,769	7,815	73,064	60,358
	支払金額	1,415,159	517,315	517,315	517,315	517,315	517,315	517,315	882,244	1,015,122	1,063,634	2,615,442	2,263,755
人工造雪施設 (プラント)	使用量(昼)	0	0	0	0	0	0	0	288	8,258	146,400	150,672	1,080
	使用量(夜)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支払金額	0	0	0	0	0	0	0	56,656	1,750,278	4,944,535	5,023,893	41,786
支払金額合計		1,415,159	517,315	517,315	517,315	517,315	517,315	517,315	938,900	2,765,400	6,008,169	7,639,335	2,305,541
累 計		1,415,159	1,932,474	2,449,789	2,967,104	3,484,419	4,001,734	4,519,049	5,457,949	8,223,349	14,231,518	21,870,853	24,176,394

牛岳温泉スキー場入込客数および営業日数

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
入込客数（人）	46,270	54,000	36,250	23,650	46,420	36,710
内訳						
一般	41,137	49,543	30,390	20,213	43,006	32,772
学校団体＋指導者	4,325	3,708	3,601	2,737	2,203	2,038
一般団体	789	494	1,838	313	498	502
マックアース共通パス		228	396	366	645	392
県強化選手	19	27	25	21	16	7
自衛隊					52	999
合計	46,270	54,000	36,250	23,650	46,420	36,710

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
営業日数（日）	71	62	64	51	69	51
営業開始日	12月19日	12月18日	12月24日	12月23日	12月25日	1月4日
営業終了日	3月8日	3月6日	3月5日	3月10日	3月9日	3月1日

人工造雪機にかかる経費等

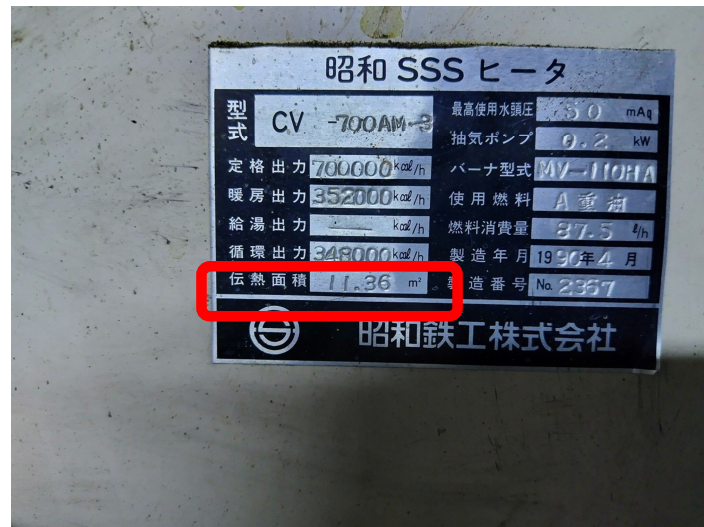
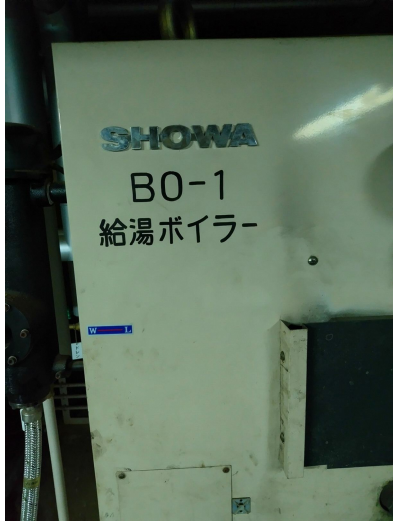
(円)

年度	営業日数	稼働日数	電気代	プラント修繕費	プラント業務委託	費用合計
R2	71	44	8,869,656	2,189,000	2,090,000	13,148,656
R3	62	45	12,065,118	2,812,425	2,090,000	16,967,543
R4	64	0	3,134,300	1,494,460	726,000	5,354,760
R5	51	26	9,234,956	19,407,685	4,840,000	33,482,641
R6	69	22	13,343,680	6,131,950	5,108,950	24,584,580
R7	51	42	11,817,148	9,783,400	2,750,000	24,350,548
計			46,647,710	32,035,520	14,854,950	93,538,180

機械稼働状況	契約電力量kw	通電日数
冷凍機 5 台稼働	878kw	90
冷凍機 5 台稼働	878kw	90
コンベニングバルブ破損のため稼働できず	878kw	90
冷凍機 5 台稼働	878kw	90
冷凍機 5 台稼働	878kw	90
冷凍機 5 台中3台稼働	878kw	92

R1	第1ペアリフト			第2高速ペアリフト			クワッドリフト					
	修繕料	牛岳温泉スキー場第1ペアリフト減速装置修繕	172,800	工事請負費	牛岳第2高速ペアリフトギアボックスOH・緊張滑車部品交換工事	5,390,000	業務委託	牛岳温泉スキー場クワッドリフト脱索検出装置の更新業務委託	3,632,200			
							消耗品	牛岳クワッドリフト脱索検出用固定抵抗器購入	5,830			
				消耗品	リフト用ベアリング購入	259,794	第2クワッド重複					
				消耗品	転がり軸受用ナイロンナット外1件購入	299,052	第2クワッド重複					
				消耗品	リフト用ベアリング購入	87,450	第2クワッド重複					
			消耗品	線路金物部品購入	1,103,976	第2クワッド重複						
R2	第1ペアリフト			第2高速ペアリフト			クワッドリフト					
				修繕料	第2高速ペアリフトクロスケット自在軸継手修繕	312,400	消耗品	クワッドリフト搬器用トーションバネ購入	45,320			
										修繕料	クワッドリフトNo4照明盤漏電ブレーカ取替修繕	24,200
										修繕料	クワッドリフトギア交換修繕	175,780
										修繕料	クワッドリフト偏向輪修繕	72,820
										修繕料	クワッドリフト降り場支柱亀裂交換業務委託	1,039,500
										修繕料	クワッドリフトナイター照明安定器取替修繕	124,300
										委託料	クワッドリフト乗場ナイター照明修繕	33,000
							消耗品	リフト用NSKベアリング購入	112,310	第2クワッド重複		
							消耗品	リフト用オイル他購入	184,800	第2クワッド重複		
							消耗品	リフト用応急降下部品購入	511,500	第2クワッド重複		
				消耗品	リフト用Vベルトコグ	14,300	第2クワッド重複					
				委託料	リフト機械電気点検等業務委託	902,000	第2クワッド重複					
R3	第1ペアリフト			第2高速ペアリフト			クワッドリフト					
				修繕料	第2高速ペアリフト用差動ユニット他購入	53,680	修繕料	クワッドリフト用ワンウェイクラッチ他1件購入	63,140			
										修繕料	クワッドリフト用テンションローッド他購入	20,570
										修繕料	クワッドリフト用押送タイヤ及びチューブ購入	158,400
							消耗品	リフト用グリース購入	17,490	第2クワッド重複		
							消耗品	NSKベアリング購入	368,511	第2クワッド重複		
							消耗品	索輪用ゴムライナー購入	396,000	第2クワッド重複		
							消耗品	リフト用ベアリング 購入	223,740	第2クワッド重複		
							消耗品	リフト用ウェッジベルト購入	159,698	第2クワッド重複		
							消耗品	リフト用三ツ星ローエッジコグベルト購入	254,100	第2クワッド重複		
							修繕料	調整二輪受索輪他購入	2,456,740	第2クワッド重複		
			修繕料	遮断器交換及び直結ユニット部品修繕	444,400	第2クワッド重複						
R4	第1ペアリフト			第2高速ペアリフト			クワッドリフト					
							委託料	クワッドリフト電気系統不具合調査業務委託	593,340			
				消耗品	リフト用グリース購入	28,600	第2クワッド重複					
				消耗品	索輪用ゴムライナー購入	297,000	第2クワッド重複					
				消耗品	受圧索機部品購入	2,254,615	第2クワッド重複					
				消耗品	ハイドロリックオイル・ギヤーオイル・絶縁油購入	605,550	第2クワッド重複					
				消耗品	ミニパワーリレー購入	4,312	第2クワッド重複					
				消耗品	セーフティーバー部品購入	51,425	第2クワッド重複					
				修繕料	停留場内受索輪整備修繕	988,900	第2クワッド重複					
				修繕料	構内電柱避雷用グラウンドワイヤ外れ修繕	82,500	第2クワッド重複					
				修繕料	押送装置用かさ歯車交換及び調整修繕	743,600	第2クワッド重複					

健康センター温泉ボイラー伝熱面積 (11.36 m²)



温泉分析書

分析依頼者 富山県富山市桜町7番38号
富山市長 森 雅志

1. 品名 さく井水 (深さ 705 m)
- (1) 源泉名 牛岳温泉
(2) 湧出場所 富山県富山市山田中村字湯谷 2727 番地
(3) 採水年月日 平成30年12月17日
2. 試験目的 鉱泉中分析試験

上記について、所定の分析試験を実施した成績は、下記のとおりである。

記

1. 湧水地における調査及び試験成績 (平成30年12月17日)
- (1) 調査及び試験者 株式会社 安全性研究センター 田中 忍奉
(2) 湧水量 310 L/min (動力揚湯 水中ポンプ 16kW)
(3) 泉温 63.7 °C 湧出地点にて測定 (測定時気温 10.5°C)
(4) 知覚的試験 無色澄明、微弱の硫黄臭及び弱塩味を有する。
(5) pH値 8.55 (ガラス電極法)
(6) 電気伝導度 0.581 S/m (25°C)
2. 試験室における調査及び試験成績 (平成30年12月17日)
- (1) 試験者 株式会社 安全性研究センター 北 由紀子
(2) 分析終了日 平成31年 1月18日
(3) 知覚的試験 無色澄明、微弱の硫黄臭及び弱塩味を有する。
(4) pH値 8.65 (ガラス電極法)
(5) 密度 0.9959 g/cm³ (20°C)
(6) 蒸発残留物 3,507 mg/kg (130°C)
試料 1kg 中の含有成分、分量及び組成 (別紙1に記載)

(別紙1)

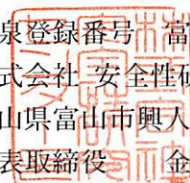
成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
陽イオン			
リチウムイオン [Li ⁺]	0.46	0.07	0.12
ナトリウムイオン [Na ⁺]	733.2	31.89	56.69
カリウムイオン [K ⁺]	13.10	0.34	0.60
アンモニウムイオン [NH ₄ ⁺]	1.11	0.06	0.11
マグネシウムイオン [Mg ²⁺]	0.23	0.02	0.04
カルシウムイオン [Ca ²⁺]	475.5	23.73	42.19
ストロンチウムイオン [Sr ²⁺]	6.10	0.14	0.25
陽イオン計	1,230	56.25	100.00
陰イオン			
フッ素イオン [F ⁻]	1.87	0.10	0.18
塩素イオン [Cl ⁻]	1,748	49.30	87.97
臭素イオン [Br ⁻]	3.85	0.05	0.09
硫酸イオン [SO ₄ ²⁻]	292.0	6.08	10.85
炭酸イオン [CO ₃ ²⁻]	10.8	0.36	0.64
メタケイ酸水素イオン [HSiO ₃ ⁻]	3.65	0.05	0.09
メタホウ酸イオン [BO ₂ ⁻]	4.11	0.10	0.18
陰イオン計	2,064	56.04	100.00
非解離成分			
メタケイ酸 [H ₂ SiO ₃]	54.4	0.70 m mol	
メタホウ酸 [HBO ₂]	26.2	0.60 m mol	
非解離成分計	86.7	1.30 m mol	
溶存物質計	3,381		
溶存ガス成分			
遊離二酸化炭素 [CO ₂]	0.1 未満	0.00 m mol	
溶存ガス成分計	0.1 未満	0.00 m mol	
成分総計	3,381		
その他の微量成分			
総ヒ素 [T-As]	0.01 mg/kg 未満		
銅 [Cu]	0.01 mg/kg 未満		
鉛 [Pb]	0.01 mg/kg 未満		
総水銀 [T-Hg]	0.0005 mg/kg 未満		

3. 判定

上記分析試験の成績によれば、本さく井水は温泉法（昭和23年法律第125号）第2条に規定する温泉の規格に適合し、その泉質はナトリウム・カルシウム-塩化物泉（低張性・アルカリ性・高温泉）に属すると認められる。

平成31年 1月25日

温泉登録番号 富山-04
 株式会社 安全性研究センター
 富山県富山市興入町2番62号
 代表取締役 金森 洋平



温泉分析書別表 (1/2)

源泉名	牛岳温泉
源泉所在地	富山県富山市山田中村字湯谷 2727 番地
温泉分析申請者	住所：富山県富山市桜町 7 番 3 8 号 氏名：富山市長 森 雅志
泉 質	ナトリウム・カルシウム-塩化物泉（低張性・アルカリ性・高温泉）

1. 禁忌症について

禁忌症は、1回の温泉入浴でも有害事象を生ずる危険性がある病気・病状である。なお、禁忌症にあたる場合でも、専門的知識を有する医師の指導のもとに温泉療養を行うことは妨げない。

また、禁忌症における疾病名等の表現はできる限り平易な用語を使用した。

2. 温泉の禁忌症及び入浴上の注意の揭示基準

(1) 温泉の禁忌症の揭示基準

①温泉の一般的禁忌症（浴用）

病気の活動期（特に熱のあるとき）、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くとき息苦しくなるような重い心臓病又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期

②泉質別禁忌症（浴用）

なし

(2) 入浴上の注意の揭示基準

①浴用の方法及び注意

温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。

ア. 入浴前の注意

- (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
- (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。
- (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。
- (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。
- (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。
- (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

イ. 入浴方法

(ア) 入浴温度

高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。

(イ) 入浴形態

心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。

(ウ) 入浴回数

入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。

(エ) 入浴時間

入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよいこと。

ウ. 入浴中の注意

- (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
- (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。
- (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。

エ. 入浴後の注意

- (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること（ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質（例えば酸性泉や硫酸泉等）や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと。）
- (イ) 脱水症状等为了避免するため、コップ一杯程度の水分を補給すること。

オ. 湯あたり

温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。

カ. その他

浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

温泉分析書別表(2/2)

源泉名	牛岳温泉
源泉所在地	富山県富山市山田中村字湯谷 2727 番地
温泉分析申請者	住所：富山県富山市桜町 7 番 3 8 号 氏名：富山市長 森 雅志
泉 質	ナトリウム・カルシウム-塩化物泉（低張性・アルカリ性・高温泉）

3. 療養泉の適応症

温泉療養を行うにあたっては、以下の点を理解して行う必要がある。

- ①温泉療養の効用は、温泉の含有成分などの化学的因子、温熱その他の物理的因子、温泉地の地勢及び気候、利用者の生活リズムの変化その他諸般によって起こる総合作用による心理反応などを含む生体反応であること。
- ②温泉療養は、特定の病気を治癒させるよりも、療養を行う人の持つ症状、苦痛を軽減し、健康の回復、増進を図ることで全体的改善効用を得ることを目的とすること。
- ③温泉療養は短期間でも精神的なリフレッシュなど相応の効果が得られるが、十分な効用を得るためには通常2～3週間の療養期間を適当とすること。
- ④適応症でも、その病期又は療養を行う人の状態によっては悪化する場合があるので、温泉療養は専門的知識を有する医師による薬物、運動と休養、睡眠、食事などを含む指示、指導のもとに行うことが望ましい。
- ⑤従来より、適応症については、その効用は総合作用による心理反応などを含む生体反応によるもので、温泉の成分のみによって各温泉の効用を確定することは困難であること等から、その掲示の内容については引き続き知事の判断に委ねることとしていること。

(1) 養療泉の適応症の揭示基準

①療養泉の一般的適応症（浴用）

筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進

②泉質別適応症（浴用）

きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症

(2) 基準の適用対象

上記3.（1）の基準は、温泉を公共の浴用に供する宿泊施設、公衆浴場等における利用について適用する。なお、医療機関が治療行為の一環として温泉を使用する場合には、全ての基準が適用されるものではない。また、療養泉の一般禁忌症及び泉質別適応症のほか伝統的適応症を適応症として決定する場合は、専門的知識を有する医師の意見を参考とすることが望ましい。

(3) 揭示の手続

適応症の揭示を3.（1）の基準に沿って行おうとする場合、公共の浴用に供する者は、都道府県、保険所設置市又は特別区が必要に応じて定める手続を経ることとする。また、揭示内容の決定に際しては、都道府県等は専門的知識を有する医師の意見を聴くことを原則とすることが望ましい。

4. 留意事項

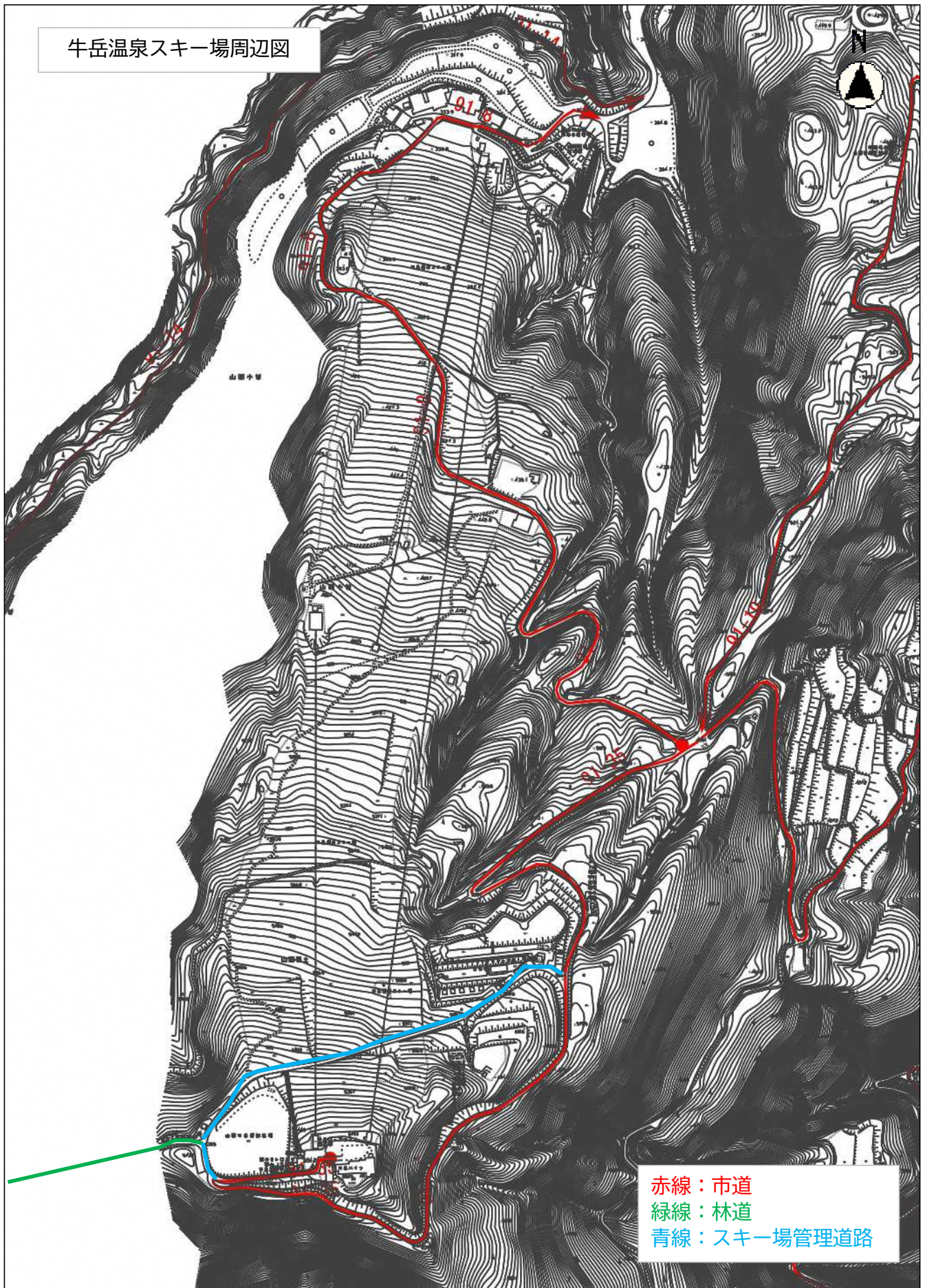
温泉は自然由来のものであり、ゆう出後に空気との接触による酸化、揮発性成分の揮散等により、温泉成分に変化が見られる場合もあり、実際の浴用にあたっては気温変化や利用者の多寡による変化の度合も異なるため、恒常的に分析結果を示すことは困難である。

掲示内容については、利用施設における成分分析結果に基づき行うことを原則とするが、ゆう出口と利用施設との間でその成分に差異がないと認められる場合には、ゆう出口における分析結果に基づき掲示して差し支えないとしている。よって、源泉の分析結果に基づき適応症を判断したものである場合にはその旨が温泉利用者へ分かるようにすること。また、利用施設における温泉の成分分析結果に基づいて適応症を判断した場合にはその旨を掲示することは差し支えない。

なお、加水、加温、循環（ろ過）、消毒、入浴剤添加については、温泉法施行規則第10条に基づき、公共の浴用に供する場合は、その旨及びその理由を掲示する必要がある。

平面図

牛岳温泉スキー場周辺図



赤線：市道
緑線：林道
青線：スキー場管理道路

縮尺 1 : 8000

100 50 0 100 200